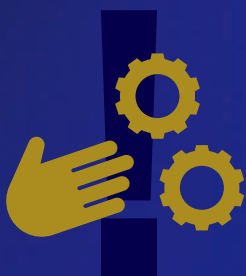


みんなの安全を、みんなで守り合う。

SAFEコンソーシアム

AWARDS 2023年度



安全な職場づくり部門



企業等間連携部門



転倒災害防止部門



腰痛予防部門



エイジフレンドリー部門

労働災害防止に向けた取組を実施している企業・団体に取組内容を応募いただき、優れた取組を部門別に表彰いたします。



応募期間：令和5年 **9月**—→**11月** (予定)

結果発表：令和6年2月 (予定)

【コンソーシアムについて】全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」を設立しました。

SAFEコンソーシアムポータルサイト 



従業員の幸せのための安全アクション「SAFE」のロゴマークで、安全のシンボルマークである緑十字をモチーフとしたものです。



SAFEコンソーシアム

AWARDS 2023年度

SAFEアワードについて

労働災害防止等に向けた取組を実施している企業・団体の皆様から、その取組内容を応募いただき、一般投票等を行い、部門別に表彰するものです。表彰された取組についてはSAFEコンソーシアムポータルサイトへの掲載及び受賞ロゴを付与させていただきます。また、受賞者には表彰状・盾をお送りいたします。※複数部門に応募可能です。



転倒災害防止 部門賞	腰痛予防 部門賞	安全な職場づくり 部門賞	エイジフレンドリー 部門賞	企業等間連携 部門賞
転倒災害防止に向けて実施しているソフト(体操等)、ハード(段差の解消等)の取組に関するもの	腰痛予防に向けて実施している取組に関するもの	転倒災害防止、腰痛予防以外について実施している取組や、それ以外にも活用できる取組に関するもの	特に高齢労働者の労働災害防止に向けて実施している取組に関するもの (転倒災害防止、腰痛予防に関する取組を含む)	企業間や自治体等と連携し、労働災害防止に向けて実施している取組に関するもの (転倒災害防止、腰痛予防に関する取組を含む)

コンソーシアム設立の背景・目的

労働災害のない安全で安心して働ける職場の実現は、いうまでもなく全ての人の願いです。しかし今、産業構造の変化や働き方の多様化に伴って、転倒や腰痛などの労働者個人の身体機能が大きく影響するリスクや、顧客・発注者、調達先等との関係で改善が難しい業務、柔軟な働き方が進んだ結果としての統一的な教育研修機会の減少など、職場単独では対応が難しい新たな課題が増えてきています。SAFEコンソーシアムは、このような課題の解決を進めるため、「Safer Action For Employees (SAFE)」を旗印に、社会全体として安全で安心して働ける職場づくりのプライオリティを上げ、加盟者が互いの知恵を共有しながら取組を進めていこうとするものです。

加盟メリット

- ロゴマークの掲示や「SAFEアワード」による労働安全衛生への取組のPR
- 加盟メンバー間での取組事例の共有や適切なサービスの利用による企業等内での労働安全衛生水準の向上、労働災害損失の減少
- 加盟メンバー間の労働災害防止・健康増進事業やサービスのマッチング

取組

- 1 加盟メンバーの地位向上
(ロゴマークの利用、コンソーシアムの活動の発信)
- 2 優良事例の表彰、コンソーシアム内外への発信(SAFEアワード)
- 3 好取組事例や労働災害防止対策サービスの共有、コンソーシアム事務局主催イベント等によるマッチングによる新たな取組の創出
- 4 安全で安心して働ける職場の実現に向けた協議・周知啓発
(シンポジウム)

SAFEコンソーシアムポータルサイト <https://safeconsortium.mhlw.go.jp/>



加盟はこちらから <https://safeconsortium.mhlw.go.jp/sc/consortium>



SAFEコンソーシアム X@safe_mhlw https://twitter.com/safe_mhlw





やってみよう!かんたんセルフチェック ～ 転倒に強い身体づくり～

事業者名 : 花王株式会社
業界・業種 : 製造業
従業員規模 : 8,403人
地域 : 関東

<p>背景 (課題・ニーズ)</p>	<p>グループ会社で<u>店頭美容部員</u>による転倒災害が増加 ⇒ 美容部員に、いかに転倒災害へ当事者意識を持っていただくか</p>	
<p>取り組んだ プロジェクト内容</p>	<p>全美容部員約3,800名へ、動画で転倒防止啓発を実施 (各10分×年3回)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;">前半: 情報提供 (5分)</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #e6f2e6;"> <p>視聴者の当事者意識醸成のため 職種特性にあわせた内容も発信 (例) 勤務用と通勤用で靴を分ける</p> <p style="text-align: center; background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;">環境面の対策</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 通路に荷物を放置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 荷物を足元に置かない ✓ 定期的に荷物を整理する </div> <div style="width: 45%;"> <p>② 勤務や通勤に適した靴を履く</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 通勤と勤務で靴を分ける ✓ 自分の足にあった靴を選ぶ </div> </div> <p>③ リスクのある場所を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ メンバー同士で危ない場所について情報交換する </div> <div style="width: 48%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;">後半: セルフチェック&トレーニング (5分)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>『転びの予防 体力チェック』 (中災防)を基に セルフチェック</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;">【やってみよう】セルフチェック</p> <p style="font-size: small; text-align: center;">動画の前で、転倒・転落リスクをセルフチェックしてみましょう</p>    </div> <div style="width: 30%;"> <p>花王陸上競技部OB が測定項目に 沿ったトレーニング を指導・実演</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;">セルフチェック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 座位ステップテスト(第1弾) 柔軟性の測定 2. 閉眼片足立ち(第1弾) 静的バランスの測定 3. 2ステップテスト(第2弾) 歩行能力の測定 4. ファンクショナルリーチ(第3弾) 動的バランスの測定 <p style="text-align: center; background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;">簡単な筋トレ</p> <p style="text-align: center; background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;">息を一括に上げてもかまいません</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #e6f2e6; margin-top: 10px;"> <p>視聴者の記憶に残るよう 担当者2名によるQ&A方式で進行</p> </div> </div> </div>	
<p>やってみての効果</p>	<p>転倒災害の発生件数が前年から65%減少 2022年:20件 ⇒ 2023年:7件 (※1~10月累計)</p>	
<p>今後の目標や展望</p>	<p>グループ全体へ波及させ、転倒災害ゼロ化 (現在、別のグループ会社1社でも水平展開中)</p>	



腰痛予防!! 従業員の体力と動作へアプローチ 20年間の取組みで休業者減少

事業者名：JFEスチール（株）
西日本製鉄所（倉敷地区）
業界・業種：製造
従業員規模：3850人
地域：中国/岡山

倉敷地区約5,000名の休業原因ワースト1であった筋骨格系疾患減少のためJFE誕生(当センターも同時開設)の2003年から取組み開始

取組みの背景

私傷病の休業理由(統合前後)

- ・休業件数率: 1999年～6年間
- ・休業日数率: 1999年～5年間

ワースト1が筋骨格系疾患であった



・前屈み、持ち上げ作業など腰部に負担のかかる作業の全てを改善することは難しい状態であった

そこで体力と動作への改善アプローチも追加した

- ①スムーズな前屈み姿勢の獲得や脚力での持ち上げを習慣化できるように**職場体操や体力チェックを実施**
- ②持ち上げ時に背中が丸くなるなどひとりひとりの問題点を**専門家が改善できる体制も構築**

ポピュレーションアプローチ

各職場で行う1次予防 (04年～)

「アクティブ体操®」 part I
8:50～毎日実施 10種目4分30秒



・作業を調査し、負担となる部位の柔軟性改善、作業に必要な筋力の向上や正しい動作の獲得を目的とした体操を開発

健診で行う2次予防 (04年～)

腰痛リスクテスト2種目



独自の5段階評価でフォロー

評価3以上「維持・安全」特になし
評価2「注意域」：運動指導
評価1「危険域」：運動指導後再測定や面談等

ハイリスクアプローチ

運動担当者が行う3次予防

背中が丸まらずに背筋を伸ばして脚力で持ち上げることができるように体力と動きを改善



前屈みリフティングの原因を修正

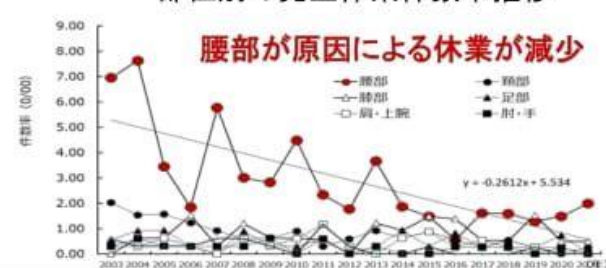
スクワットリフティングの獲得がゴール



結果 2003～2021 (倉敷地区) 筋骨格系疾患：休業日数の損失金額



部位別の発生休業件数率推移





安全な介護の職場づくり 言語や文化の多様な外国人介護職員への 安全衛生対策の「見える化」

事業所名：社会福祉法人 蓬愛会
業界・業種：医療・福祉
従業員規模：約480名
地域：関東/栃木県

背景（課題・ニーズ）

当法人では、増加する外国人介護職員への安全衛生対策に力を入れている。外国人が働く全ての施設において、言語や文化の多様性を踏まえ、「見える化」を実現し、「ゼロ災」に取り組んでいる。

取り組んだプロジェクト内容

①安全衛生教育の様子やテキスト

外国人職員への母国語を使用した
安全衛生の意識付け



②ピクトグラムを用いた張り紙

母国語を使用してより理解できるように
「見える化」をした



③意識付け用の貼り紙や名札

「Aない声かけ運動」により職員同士の
コミュニケーションの向上につながっている



やってみての効果

漫画による基礎研修、自国の言語入りピクトグラムにより興味関心が高まり、「Aない声かけ運動」を職員同士が声をかけあうことで、さらに安全衛生への意識が浸透してきている。対策を「見える化」することで、現在、外国人介護職員の「ゼロ災」を継続している。

今後の目標や展望

危機管理に対する意識は文化や慣習の違いによって差異がある為、この基本の取り組みを繰り返し継続することで「ゼロ災」活動を推進していく。